

【2021 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
生命学	選択	選択	1	1.2	後期 (後半)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
志茂 聡 他	C306	sshimo	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	医療を学ぶ上では生命科学の基礎知識が必要不可欠である。そのため、既に習得した生物学 (解剖学、生理学等)、化学基礎等の基礎知識を連携させて復習するとともに、分子生物学、生命工学などの生命現象に関連した知識を深めることを目的とする。さらに、レポート作成においては基礎演習 I で学んだレポート作成技法を実践できることを目的とする。生命工学の進展にともなって提起されるようになった、生命倫理をめぐる諸問題について、実例等を通して学習する。これらの内容について、課題学習等を通して理解するとともに、授業における Microsoft Teams を利用した意見交換や、提出課題に対するフィードバックを活用して包括的な理解につなげる。				
学習上の助言	講義を通して、生命科学、哲学、生命倫理など様々な視点から生命について考える態度を養うことを目指して欲しい。授業内容に関する質問は、授業中及びオフィスアワーの時間に受け付けている。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書	特に指定しない。教員が資料を準備する。				
参考書	基礎から学ぶ生物学・細胞生物学 第3版 /著:和田勝 /羊土社 (2015) 現代生命科学 第2版 /編:東京大学生命科学教科書編集委員会 /羊土社 (2019) 解剖学 標準理学療法学・作業療法学 (専門基礎) 第4版/ 野村巖 (編集) / 医学書院 (2017)				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	生命について細胞レベル個体レベルで理解し、概要を説明することができる。		HSU(1)		
②	細胞の構造と各種構造の機能のつながりを理解し、概要を説明することができる。		HSU(2)		
③	神経系の基本構造と働きを理解し、概要を説明できる。		HSU(1)		
④	生命倫理の歴史と課題について説明することができる。		HSU(2)		
⑤	生命の質と生命の尊厳について説明することができる。		HSU(1)		
⑥	「よく生きる」とはどういうことかについて、自分の考えを説明することができる。		HSU(1)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	生命科学と生物学の基本となる事項を身近な課題を通じて学習する。 フィードバック: 授業時間内に実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施 [担当: 志茂聡]	同時双方向型授業	Teams 配布資料および参考書を用いて生命にみられる共通性について予復習する。	4	
2	生物にみられる共通の構造および特徴と発生の基本原理と生物に共通してみられる派生メカニズムを学習する。 フィードバック: 授業時間内に実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施 [担当: 志茂聡]	同時双方向型授業	Teams 配布資料および参考書を用いて生命にみられる共通性について予復習する。	4	
3	外部環境を認識し内部環境を調節する情報処理システムの主となる神経系の基本構造と神経系の生理機能の基本的な仕組みを学習する。 フィードバック: 授業時間内に実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施 [担当: 志茂聡]	同時双方向型授業	Teams 配布資料および参考書を用いて生命にみられる共通性について予復習する。	4	
4	生物の進化の仕組みと多様性について学習する。 フィードバック: 授業時間内に実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施 [担当: 志茂聡]	同時双方向型授業	Teams 配布資料参考書等を用いて生態系の進化のしくみなどについて予復習する。	4	
5	生命をめぐる倫理(1)生命倫理の歴史と課題について学習する。 フィードバック: 授業時間内に実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施 [担当: 神谷直樹]	同時双方向型授業	Teams 上で指定した課題に取り組む。	4	
6	生命をめぐる倫理(2) 生命の質と生命の尊厳について学習する。 フィードバック: 授業時間内に実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施 [担当: 神谷直樹]	同時双方向型授業	Teams 上で指定した課題に取り組む。	4	
7	生命をめぐる倫理(3)「よく生きる」とはどういうことかについて学習する。 フィードバック: 授業時間内に実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施 [担当: 神谷直樹]	同時双方向型授業	Teams 上で指定した課題に取り組む。	4	
8	これまでの学習の総括 フィードバック: 授業時間内に実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施 [担当: 志茂聡]	同時双方向型授業	Teams 配布資料および参考書等を用いて第 7 回までの内容に沿って復習する。講義内で挙げた学習課題について復習する。	4	

【2021 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

試	定期試験は行わない。レポートにて評価する。						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	100	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	40	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	0	40	0	0	0	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	10	0	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	初回講義でレポート書式および評価方法を提示する（評価割合100%）				添削後、学生に返却により結果の開示および解説を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>担当教員：◎志茂 聡、神谷 直樹</p> <p>教員の実務経験：担当教員は、解剖学で博士号（医学、山梨大学）を取得しており、本学（専任教員）および山梨大学医学部解剖学講座構造生物学教室（非常勤講師 平成 31 年現在）にて長年解剖学の教育に携わってきた解剖学教育の専門家である。作業療法士免許を有し、実務経験は 10 年である。</p> <p>実践的授業の内容：人体の構造とともに実践的な機能を含めた内容を実施する。また、講義形式とともに講義内容についてのディスカッションや意見交換などフィードバックの機会を組み込み、臨床場面で必要となる「得た知識を活用する場面」を取り入れた授業をおこなう。</p> <p>Microsoft Teams を用いた遠隔授業を行う。 課題ダウンロード等があるので、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。 今後の社会情勢によって再度シラバスの変更があり得る。</p>							